

航空自衛隊仕様書		
仕様書の 種類	内容による分類	装備品等仕様書
	性質による分類	個別仕様書
物品番号	8465-428-2076-5	仕様書番号
品名 又は 件名	ポーチ, 大	4補LPS-D84176-4
		作成 平成29年 5月16日
		改正 令和 4年 2月 1日
		令和 5年 5月18日
	作成部 隊等名	第4補給処

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、警備員が使用するポーチ, 大について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、引用文書等による。

### 1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の名称による。

### 1.4 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、次の文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、法令等を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

#### 1.4.1 引用文書

##### a) 規格

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0848 汗に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 1030-1 繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別

JIS L 1030-2 繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率

JIS L 1092 繊維製品の防水性試験方法

JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法

JIS L 2511 ポリエステル縫糸

JIS L 3416 面ファスナ

品名	ポーチ, 大
----	--------

NDS Z 0001 包装の総則

NDS Z 8011 角形銘板

b) 仕様書

C&LPS-I84093 防弾チョッキ 3 型, 空

C&LPS-D84500 作業服改, 空

c) 法令等

中央調達に係る直接監督方式及び直接完成検査方式の標準実施要領について（通知）（装管企第 297 号平成 27 年 10 月 1 日）

1.4.2 関連文書

NDS L 0101 縫製用語

NDS L 0102 縫製要領

NDS L 3003 繊維テープ

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表 1 による。

2.2 縫製要領

2.2.1 一般要領

一般要領は、次による。

- a) 針数は、2.5 cm 間隔の表面に現れた針数とし、7 針以上とする。
- b) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全に行う。
- c) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で、縫い目曲がりがないようにする。
- d) 仕上げは、糸くずなどを取り、丁寧に仕上げる。
- e) 各部の縫い代は、0.5 cm 以上とする。

2.2.2 細部要領

細部要領は、次による。

- a) 本体は、ナイロン生地で裏あてする。
- b) 本体上部は、本体生地と口布及び補強材を合わせ、テープを二つ折りにして縁巻きする。
- c) 本体上部裏面とテープ（弾帯用固定用）3 本は、カン止め縫いで縫着する。
- d) 前号のテープには、端を折り返し、面ファスナ（2 種 2 号 B 及び A）を縫着するとともに、ドットボタンを取り付ける。
- e) 本体表面上部にハトメを取り付け、口ゴム紐を通し、コードストッパーを取り付ける。
- f) 弾帯固定用（本体裏面上部）のテープとテープとの間（2 カ所）にハトメを取り付ける。
- g) 本体裏面中央部に面ファスナ（2 種 2 号 B）を縫着する。
- h) 縦方向に生地を折り返したところを底部とし、所定の位置にハトメを 2 個取り付ける。

2.3 形状・寸法

形状・寸法は、図 1 及び図 2 によるほか、細部は、承認用見本による。また、寸法許容差は、中央調達に係る直接監督方式及び直接完成検査方式の標準実施要領について（通知）による。

品名	ポーチ, 大
----	--------

## 2.4 外観

外観は、仕上がりが優良で、きず、汚れなどの欠点がないほか、細部は、承認見本による。

## 2.5 製品の表示

### 2.5.1 銘板

銘板は、図2に示す様式のもの弾帯固定ベルト側の本体内側中央、上端から45 mmの位置に縫着する。

### 2.5.2 用字・書体

用字・書体は、NDS Z 8011によるほか、記載事項及び枠は黒色で、にじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

## 3 監督・検査

監督・検査は、分任支出負担行為担当官（以下、“分支担当”という。）の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

## 4 出荷条件

### 4.1 包装

包装は、商慣習とする。

### 4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、表示内容は、次による。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年度  
例 2017年度
- f) 製造者名（若しくはその略号）又は納入者名（若しくはその略号）

## 5 その他の指示

### 5.1 承認用見本

契約の相手方は、製作に先立ち、承認用見本として製品1EA及びC&LPS-I84093の付表4についての試験成績書を分支担当官に提出し、外観、形状及び色について承認を得なければならない。ただし、分支担当官から、承認を得た実績がある契約の相手方は、仕様の変更がない場合、本提出を省略することが可能である。

### 5.2 仕様書の疑義

契約の相手方は、仕様書の内容について疑義が生じた場合は、分支担当官を通じて要求元と協議する。

品名	ポーチ, 大
----	--------

表1-材料

項目	数量	規定	用途	
生地	表地	—	表2による。	本体
	裏地	—	ナイロン100% 黒色	本体裏地, 口布
テープ	3	ポリエステル ジャカード織 デジタル迷彩柄	厚さ 1.5 mm 長さ 310 mm 幅 25 mm	弾帯固定用 巻き止め用
	—	ナイロン 杉織 黒色	厚さ 1.0 mm 幅 25 mm	本体縁取り
ドットボタン	3	黒色ニッケルめっき (頭: つや消し) #7050 又は頭 15 mm	弾帯固定ベルト開閉	
コードストッパー	1	ポリアセタール樹脂成型品 バネ開閉式黒色 穴径 6 mm~10 mm 縦 30 mm 横 15 mm	口布開閉調整	
口ゴム紐	1	ナイロン 黒色 φ3 mm 長さ 700 mm	口布開閉	
ハトメ	5	黒色ニッケルめっき #25 又は内径 10 mm	水抜, 紐通し	
面ファスナ	3	JIS L 3416 黒色	縦 110 mm 横 25 mm	弾帯固定用
	3		縦 90 mm 横 25 mm 2種 2号B	
	1	縦 50 mm 横 50 mm 2種 2号B	巻き止め用	
補強材	1	発泡ポリエチレン 1.0 mm厚 40 mm×560 mm 発泡倍率 2倍を基準とする。	口部補強	
縫糸	—	JIS L 2511 #20 グレー色又は黒色	全般縫製用	
銘板	1	綿ブロード#40 白色 (ほつれ止め樹脂加工)	製品表示用	

品名	ポーチ, 大
----	--------

表 2-材料 (表地)

区分		規定		試験方法
混用率	%	ポリエステル 100	ナイロン 100	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。
糸の見掛繊度 dtex	たて	560	470	JIS L 1096 の A 法による。
	よこ	560	470	
組織		平織		
密度 本/2.5 cm	たて	38 以上	43 以上	
	よこ	38 以上	43 以上	
生地幅 cm		110 以上		
質量 g/m <sup>2</sup>		270 以下		
引張強さ N	たて	2 200 以上		
	よこ	2 200 以上		
引裂強さ N	たて	130 以上		
	よこ	130 以上		
耐水度 kPa		20 以上		JIS L 1092 の B 法による。
はっ水度		3 以上		JIS L 1092 による。
染色堅ろう度 級	洗濯	変退色	4 以上	JIS L 0844 の A-5 号による。 ただし、汚染用添付布は、綿布とする。
		汚染		
	摩擦 (乾燥)		3 以上	JIS L 0849 の II 形による。
	耐光		4 以上	JIS L 0842 第 3 露光法による。
	汗	変退色	3 以上	JIS L 0848 による。
		汚染		
迷彩模様		C&LPS-I84093 の付図 5 による。		—
防水加工	表面	フッ素系樹脂加工		—
	裏面	ウレタンコーティング加工		—
染色加工		染料又は顔料による捺染加工とする。		—
色彩, 赤外線反射率及び面積比率		色については C&LPS-D84500 に定める色を基準とし, 細部については承認用見本とするほか, 赤外線反射率及び面積比率は, C&LPS-I84093 の附表 4 による。		—

品名	ポーチ, 大
----	--------

単位 mm

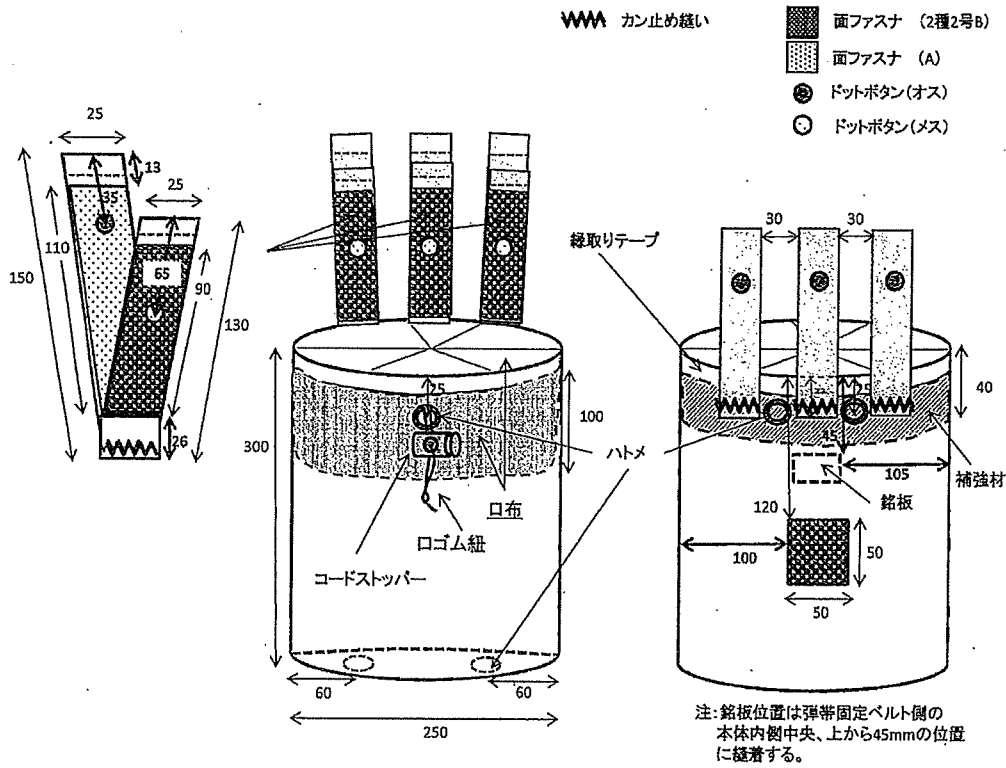


図1-形状・寸法

単位 mm

航空自衛隊		30
品名	ポーチ, 大	
物品番号	(1)	
納入年度	(2)	
契約者	(3)	
15		
40		

- (1) 物品番号を記入する。
- (2) 納入年度を記載する。 例 2017年度
- (3) 契約の相手方の名称または略号を記入する。

図2-銘板